

資格の学校 **TAC**

2010.7-2011.3

公認内部監査人

ダイジェスト版

◎詳細につきましては、講座案内書をご覧ください。

Certified Internal Auditor

受験対策 & 実務対策



リニューアルして
いよいよスタート!!

◎顔の見えるプロフェッショナル講師陣

◎圧倒的な過去問による実戦演習

◎徹底した内部監査規定の読み込み

◎内部監査実務におよぶ高付加価値な講義

TACがプロデュースする
新しいカタチです。

資格の学校
TAC

TAC(株)公認内部監査人(CIA) 330-0902-1001-10

まずは、 TACをお選びください。

CIA資格のルートファインディングはTACにおまかせください!!

安心 その1

抜群の信用力!

中央官庁、証券取引所などの公的機関や企業におけるCIA試験対策・研修を手がけるTAC。
前受金保全制度の導入や合格者数等についての正確な情報提供など、
個人受講生の受講環境の整備を進めるTAC。
TACは東証一部上場企業(証券コード:4319)として、
これからも多くの皆様から信頼・支持が得られるよう、責任ある行動に努めてまいります。

安心 その2

専門家によるハイクオリティーな講義!

例えば、内部監査のスペシャリスト近藤利昭氏によるPart I・II の講義。
CIA試験対策に最新の実務情報をも織り込んだ「真の内部監査」の講義は唯一、TACにあります。

安心 その3

短期合格を見据えた機能的教材!

CIA試験シラバスやCIA試験問題に忠実に制作され、さらに、合格者の意見を集積させた機能的教材。
TACの教材には、短期合格に必要なすべてのノウハウがつまっています。

安心 その4

万全のサポート体制!

受験対策にあたって不安はつきもの。
質問対策から受講フォローまで、これまで受講生のご要望にお応えする形で創り上げてきた、
きめ細やかな数々のサポート制度を存分にご活用ください。

つぎに、 最適な受講コースをお選びください。

TACには受講コースがフルラインナップされています!!

結論-その①

『本科生』が絶対オススメ!

本科生には特典として「CIA試験参考問題集2004※」、
受講期限まで教室講義に自由に出席できる「教室フリーパス制度」、
受講期限後に単科生が特別割引受講料で受講できる「再受講割引制度」が付いており、さらに、
CIA試験合格者には「専門職の実施のフレームワーク※」が贈呈されます。
受講期間は1年間あり、公認会計士・U.S.CPA試験合格者などを対象とした他資格合格者割引制度もあります。
CIA試験対策に必要なすべてのアイテムがパッケージされた本科生。まずは本科生からご検討ください。
＜※(社)日本内部監査協会発行＞

結論-その②

『教育訓練給付制度』をツカウ!

4科目本科生DVD通信講座は、教育訓練給付制度の指定コースとなっており、
給付金が支給された場合、受講料等の実質負担額は大幅に軽減されます。
＜※他資格合格者割引制度をご利用の場合は、さらに軽減されます。＞

結論-その③

『サポートコース』で安心シアゲ!

PartⅢのみならず、科目横断的に出題される会計とITを補強したい。
CIA試験前にCBT方式に慣れておきたい。そんなご要望にお応えするのがサポートコースです。
サポートコースで画竜点睛。自信をつけてCIA試験にチャレンジしましょう。
＜※サポートコースは必要に応じて別途お申込みください。＞

結論-その④

決意したら…すぐにスタート!

TAC公認内部監査人(CIA)講座は、いつからでも受講することができます。

【受講対象者】	【開講コース(基本講義)】
初学者	➡4科目本科生
1科目合格者・PartⅣ免除者	➡3科目本科生
2科目合格者	➡2科目生
3科目合格者	➡単科生
内部監査士(QIA)	➡3科目本科生(受講)or内部監査士バック(独学)
中小企業診断士受験生	➡4科目本科生(受講)or中小企業診断士バック(独学)

TAC公認内部監査人(CIA)講座・CIA試験制度がリニューアルされました!!➡

←再受講のご案内です!!

資料請求・お問い合わせはこちらから!!➡

Part I・IIの講義に 実務のテイストが プラスされました。

内部監査のスペシャリスト近藤利昭氏が、ケーススタディ問題への対応、
内部監査規定の読み込み、実務上の手続などについて詳解します。
CIAを志すすべての方は、この機会を逃すことなく、是非ご受講ください!!



アイ・エー・アーケコンサルティング株式会社
〔代表取締役〕

近藤 利昭氏

公認内部監査人 (CIA)
内部統制評価指導士 (CCSA)
公認不正検査士 (CFE)

▶ PROFILE

近藤 利昭 (こんどう としあき)

◎1976年三井銀行入行。

◎三井住友銀行監査部上席審査役、KFI (KPMGフィナンシャル (株)) マネジャー、野村證券 (株) インターナル・オーディット部IT監査チームリーダー、IBMビジネスコンサルティングサービス (株) シニアマネージングコンサルタントを経て現職。

◎米国での8年に亘る勤務経験とヨーロッパ、アジア諸国への多くの海外出張経験を活かし、1997年4月ニューヨークで北米拠点の内部監査を管轄する米州検査室を開設。

◎米国でCOSOを基本とする内部統制を学び、リスクベースの監査を実践し修得。

◎1999年4月帰国後、公表された金融検査マニュアル対応では検査から監査への抜本的な改革へ尽力。金融庁を始め、米国、英国、シンガポール等主要金融当局へ内部監査組織や監査手法を説明。

◎三井住友銀行合併後新設された監査部で、グローバルなリスク評価モデルを構築。また、アジア拠点に駐在する現地内部監査人の指導育成に携わる。

◎2002年3月銀行退職後、プロの内部監査人として、コンサルティング業務を含め一貫して実務に裏付けされた内部監査業務に邁進。傍ら、講演活動、品質評価 (QAR)、研修、寄稿等 راイフワークとして行い、日本の内部監査の発展に向け、地道な活動を続けている。

◎著書／「内部監査を活かす術 プロがあかす監査業務の38の極意」 (株) きんざい
「これが金融機関の内部監査だ 2nd edition」 (共著) (株) きんざい

▶ Part I・II担当一覧	2010年夏入学コース	2010年冬入学コース
■教室講座	Part I 講義:8月 Part II 講義:9月	—
■ビデオ (DVD) 講座	○	○
■DVD通信講座	○	○

『理論なき実務は砂上の楼閣』

内部監査では、理論の裏付けのない実務の積み重ねは、砂の上に築かれた建物と同じで、ちょっとした外部からの異論や反論で脆くも崩れ落ちることがあります。監査業務に一貫して強く求められるのは『説明力』です。ひとつの指摘が現場へ思わぬ波紋を起こすとき、学んだ専門的な理論と論理的な信念を持った内部監査人の説明が、現場で認識されない潜在的なリスクを改善へと導きます。内部監査の理論の修得は、監査人の専門性の高さと判断力の正しさを証明します。

CIAは、このような正しい目的意識を持つことによって、
内部監査人を一度も二度も生まれ変わらせることを可能とします。

是非、この機会を逃すことなく、一緒に勉強しましょう。
皆様のご受講を心よりお待ちしております。

『三様監査で役立つ監査の基礎理論』

CIA取得の勉強を通じて身につくのは、監査の基礎理論と実務で役立つ多くのケーススタディです。監査の基礎理論は、内部監査だけでなく、監査法人の会計監査、監査役の業務監査と、三様監査のすべてで応用でき、しかも、世界のあらゆる国で行われる内部監査の共通理論、共通言語であることが特長です。これはすばらしいことで、言葉の壁を乗り越えれば、日本のみならず世界のどこでも監査業務の活躍の場が拓けることを意味します。この基礎理論を学ばずして、監査業務は完成されないと断言してもよいでしょう。

『ケーススタディは疑似体験』

もう一つ、重要な利点はケーススタディの勉強です。このケーススタディを合格のための過去問と捉えるのは視野が狭く、CIA試験は、あらゆる業種の内部監査人が知恵を絞った、実務に則った問題が出題されます。これを学ぶことは、活きた監査業務の疑似体験と同じ効果を生みます。ひとりの人間が、組織の中で体験できる監査は、時間的にも空間的にも自ずと限界があり、当然ながら過去に職務経験のない業務の監査を担当することもあります。そのような時、CIAで学ぶケーススタディは、個別監査におけるさまざまな局面で必要とされる『判断力』に大いに参考となり、監査人を支援してくれます。

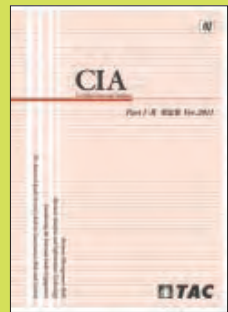
『私の講義の特長』

CIAにチャレンジする本当の目的、それは単に受験テクニックを磨き短期間で合格を勝ち取るのではなく、試験勉強を通じ、体系的な監査理論とケーススタディの実務を修得することです。複雑で混在するリスクを専門的な視点で紐解き、組織の内部統制の危うさを評価することによって、業務プロセスの破綻を未然に防止し改善する、といった監査の保証活動 (アシュアランス) の場で、学んだ理論と実務を最大限に活かすことこそ、真の目的となるでしょう。その意味で、私の講義 (Part I・II) では、シラバスの項目毎に可能な限り、実際の監査業務とリンクさせた形で歩を進めていきます。活きた監査の事例を交え、現場感覚を養いつつ、監査のベストプラクティスを理解していく。単に知識を詰め込むのではなく、企業体の監査の現場で役立つ試験勉強をめざします。無論、試験問題に潜む罠や、正答を得るテクニック、受験当日のワンポイントアドバイスなども適宜織り込むつもりです。

【リニューアル】Renewal-2

理解をより深める新しい教材体系になりました。

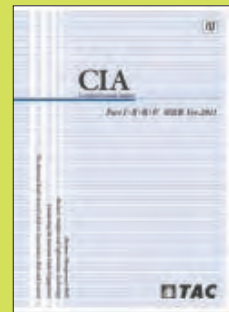
新たに“用語集”や専門性の高い“補助レジュメ”をラインナップ。
Part I・IIのテキストには、内部監査実務に関する“コラム”を収録しました!!



IPPF
収録

【規定集】

“専門職の実施の国際フレームワーク (IPPF)”の正式翻訳版を収録しました(但し、「実践要綱」を除く)。



NEW

【用語集】

テキストに収録されていた“用語一覧”がさらに充実。“用語集”として独立しました。



コラム収録

【テキスト】

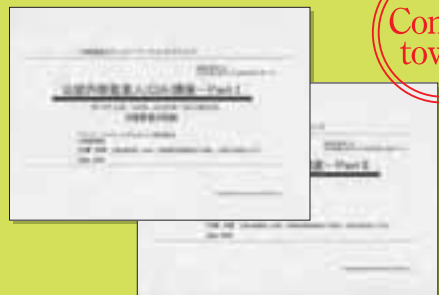
Part I・IIのテキストには、内部監査実務に関する“コラム”を収録しました。



過去問
収録

【トレーニング】

問題・解答のみならず、各選択肢の解説もしっかり理解することが重要です。



Control
tower

【補助レジュメ】

各教材を自由自在に操り、受験対策と実務対策を両立させます。

【リニューアル】Renewal-3

CIA試験制度が改定されました。

受験申込時に推薦状が必要となりました。
また、受験料が値下げされ受験しやすくなりました!!

1

推薦状の提出時期について

2010年4月1日以降、IIA本部からの指示により、CIA試験の初回受験申込み時に「推薦状」の提出が必須となりました。
なお、2010年3月31日以前に申込みがお済みで、推薦状を提出されていない場合は、
全Part合格後までに提出することとなります。また、推薦者については、受験者の親族以外の客観的な立場の第三者で、
IIA倫理綱要をお読みいただいた方であれば、勤務先の上司や教授以外の方でも結構です。

2

受験料の値下げについて

2010年11月1日(消印)以降申込み分から、下記のとおり受験料が改定されました。
登録料に変更はありません。なお、これまでに支払った受験料は返却されませんのでご承知おきください。

受験者区分	一般(学生・教員以外の方)		大学／大学院の教員・学生(初回申込時のみ)	
	2010年10月31日迄	2010年11月1日以降	2010年10月31日迄	2010年11月1日以降
申込時期(消印有効)				
登録料(初回受講のみ)	¥8,400(消費税込み)		¥4,200(消費税込み)	
各Part受験料(各Part共通)	¥17,850(消費税込み)	¥16,800(消費税込み)	¥11,550(消費税込み)	¥10,920(消費税込み)
PartIV試験免除の場合の管理費	¥17,850(消費税込み)	¥16,800(消費税込み)	¥11,550(消費税込み)	¥10,920(消費税込み)

再受講のご案内

既に受講された皆様におかれましても、リニューアルしたPart I・IIの再受講を是非ご検討ください。
皆様のご受講を心よりお待ちしております。

注目!

① 過去に本科生をお申し込みになられた皆様

本科生特典である「再受講割引制度」が適用され、単科生の各Partが¥20,000/Partでご受講いただけます。

② Part I・II 合格者の皆様

リニューアルしたPart I・IIの講義では、CIA試験対策を通じて、内部監査実務に踏み込んだ解説が行われます。
したがって、これまでに修得した知識の整理や内部監査実務に関する新たな知識の修得ができますので、Part I・IIの可否にかかわらず、リニューアルしたPart I・IIの再受講を是非ご検討ください。

◎過去に本科生以外のコースをお申し込みになられた方につきましては、上記①の特典は適用されませんので、ご注意ください。単科生もしくは2科目生(Part I・II)でお申込みください。
◎教室講義に出席される場合には、教室講座をお申込みください。ビデオ(DVD)講座、DVD通信講座では、教室講義に出席できませんのでご注意ください。

●再受講割引制度適用の範囲

過去に本科生をお申し込みになられた方に限り、単科生の受講料が¥20,000/Partとなります。

●再受講割引制度のご利用にあたっては、 公認内部監査人(CIA)講座の会員証をご提出ください。

※TAC各校の受付にてお申込みの場合は、申込書とともにご提出ください。
※通信講座郵送専用申込書でお申込みの場合は、会員証のほか銀行振込・郵便振替による振込控えをご提出ください。

●注意事項

※e受付・書店代理店・大学生協では再受講割引制度によるお申込みはできません。TAC各校受付窓口または郵送でのお申込みとなります。
※再受講割引制度はキャンペーンその他の割引制度、特典との併用はできません。
※通常受講料にてお申込み後、再受講割引制度の対象である旨を申し出られましても差額の返金等に応じることはできません。
※再受講割引制度の内容は、予告なく変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

『頼れるTACの無料受講相談』

自宅に居ながら、疑問解消！入会の強制は一切致しませんのでご安心ください。

資格・受講形態・コース選択.etcで迷っている方に!!

資格の悩みは尽きることがないのになかなか相談できない…。
資格取得を目指す方の疑問にお客様専任のアドバイザーがお答えします。

電話でこれから始める相談ダイヤル

0120-443-411 【受付時間】
月～金/9:30～19:00
土・日・祝/9:30～18:00

※携帯・PHS OK ※携帯・自動車電話・PHSからもご利用いただけます。

メールでこれから始める相談メール

URL <http://www.tac-school.co.jp/>

TACホームページにアクセス ▶ 「無料受講相談」をクリック ▶ 「これから始める相談メール」をクリック

これから「通信講座」で受講をお考えの方へ!!

通信講座に興味はあるけど…と迷っている方も講座内容の最終確認の方もお電話ください。お客様が知りたい・聞きたい情報を、アドバイザーがお応えいたします。

「〇〇資格って、どんな資格?」「今からでも学習はできるの?」という質問や「フォロー制度ってどんなの?」「教室講座との違いはあるの?」というご質問など、お客様に合わせて情報を提供しております。ぜひ、ご利用ください。

また、通信ダイヤルの利用後に、TACホームページ上からアンケートにご回答いただくと、「通信講座限定の入会金(¥10,000)免除券」をプレゼントしております。

ハロー!「通信」質問ダイヤル

0120-634-120 【受付時間】
月～金/9:30～19:00
土・日・祝/9:30～18:00

※携帯・PHS OK ※携帯・自動車電話・PHSからもご利用いただけます。

申込方法

お手続きは簡単です!

詳細については、下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

教育訓練給付制度をご利用の方は、
受講申込み後1ヵ月以内に必ず給付
制度申込みを行ってください。

◎0から始まる会員番号をお持ちでない方は、入会金¥10,000(5%税込)が別途必要です(入会金不要講座・免除講座を除く)。会員番号につきましては、TAC各校までお問い合わせください。

**TAC受付窓口で
お申込みの場合**

申込書に受講料を添えて
①現金でのお申込み
②デビットカードでのお申込み
(30,000円以上の申込み)



《デビットカードのご利用にあたって》
※30,000円以上の講座申込に限りです。
※TAC教育ローンの頭金のお支払いには利用できません。
※お客様ごとに利用できる支払い限度額が設定されていますので、予め取引先金融機関にお問合わせください。
※一部金融機関のカードでは利用できない場合や、利用可能時間・曜日は金融機関により異なりますので、予め取引先金融機関にお問合わせください。

**インターネットで
お申込みの場合**



TAC ECサイト

<http://ec.tac-school.co.jp/>

申込可能な商品は限られますのでTAC e受付サイトにてご確認ください。

※支払は、クレジットカード・ジャパンネット銀行リンク決済・コンビニ支払(セブンイレブン・ローソン・ファミリーマート・セイコーマート)・銀行振込となります。
※コンビニ決済は30万円までの取扱となります。



郵送でお申込みの場合

銀行振込

【銀行振込】

(口座名) TAC株
(振込先) みずほ銀行/神田支店
普通預金2142263
※振込は、ATMをご利用ください。
早くて手数料がお得です。

郵便振替

【郵便振替】

(口座番号) 00140-4-74476
(名 称) TAC株式会社
※郵便局備えつけの「払込取扱票」をご利用いただくか、ATMをご利用ください。

①申込書 ②受講料の振込控え(コピーでも可・インターネットバンキングでのお振込みの場合には振込終了画面等のTACへの送金を確認できる画面をプリントアウトして添付ください。お客様の口座番号・口座残高は黒塗り等いただいても結構です。) 2点を同封しTAC申込手続係へ送付

TAC申込手続係 〒101-8383 東京都千代田区三崎町3-2-18

◎お振込控えがない場合、ご本人様の確認ができないため、お申込み手続き、教材の発送等が遅れます。
※振込手数料はお客様ご負担となります。
※TACは原則として前払いとなります(一部代引き除く)。

**大学生協等代理店で
お申込みの場合**

生協等の専用申込書に記入し、割引受講料をお支払いください。
※生協等で「申込者控」を必ず受取ってください。

TAC受付で申込書に記入し、「申込者控」(生協等で受取)とともに提出
通信の方は店舗から受取った返信用封筒に「申込者控」「TAC郵送専用申込書」を入れてお送りください。

※取扱店舗により申込方法が異なる場合がございます。また、一部お申込みのできない講座・コースもございます。

会員証の発行

TAC受付窓口で手渡し

学習スタート

会員証の発行

ご自宅へ郵送
(通学講座は窓口渡し)

学習スタート

会員証の発行

ご自宅へ郵送

学習スタート

会員証の発行

TAC受付窓口で手渡し
(通信講座はご自宅へ郵送)

学習スタート

【注意事項】

- 当案内書の有効期限は、2011年3月までになります(コースにより申込期限が異なりますので、ご確認の上お申込みください。)
- 未成年者(20歳未満)が受講申込み(受講料5万円以上)をする場合には、別途親権者の自筆による「同意書」の提出が必要です。
- TAC提携校では、一部お取扱いできない場合もございますので、予めご了承ください。

■資料請求・お問い合わせはこちらから

フリーダイヤル

0120-509-117

※携帯・PHS OK ※携帯・自動車電話、PHS、衛星電話からもご利用になれます。

【受付時間】9:30～19:00(月曜～金曜)
9:30～18:00(土曜・日曜・祝日)

【TACホームページ】<http://www.tac-school.co.jp/>

TAC

検索

**資格の学校
TAC**